

工事便りでは、本工事を市民の皆さまにお知らせすることを目的に定期的に発行していきます。
創刊号では、工事の内容についてお知らせいたします。

【工事の背景】

平成23年9月の台風12号により 岡山市南部では大きな浸水被害が発生しました。そのため、浸水被害の軽減を目的として、貯留管としての地下トンネルを整備する『浦安11号雨水幹線』を進めています。

令和7年3月に完成した(1工区)に引き続き、『浦安11号幹線(2工区)雨水管築造工事』を着手しました。

被害状況写真



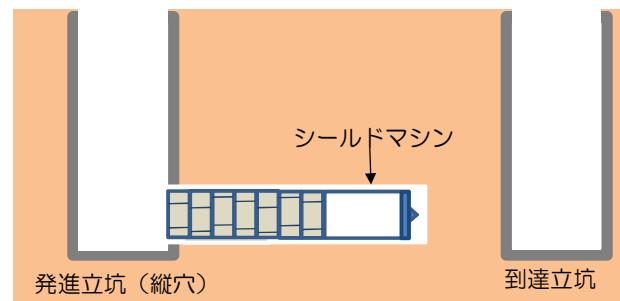
工事の位置図



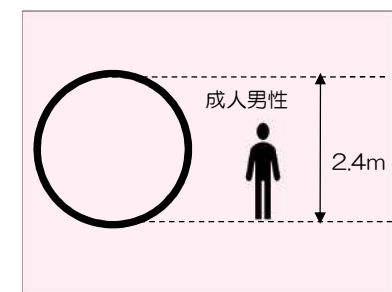
【主な工事の内容】

シールド機を使用して、距離約2.0kmに直径2.4mの地下トンネルを整備します。

シールド工法のイメージ図

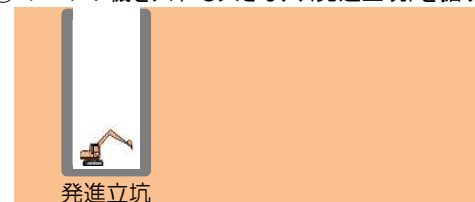


トンネルの大きさ

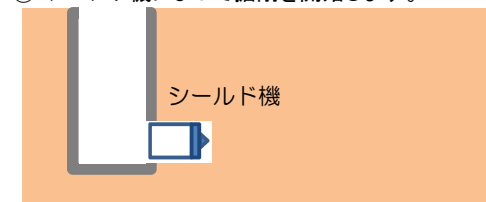


【施工の手順】シールド工法

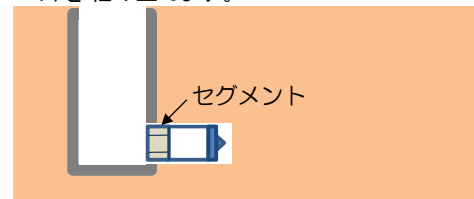
①: シールド機を入れる大きな穴(発進立坑)を掘ります



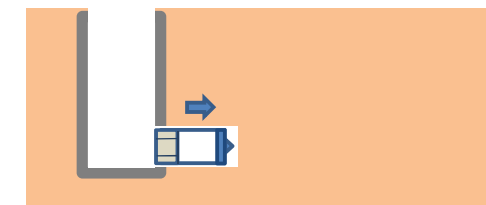
②: シールド機によって掘削を開始します。



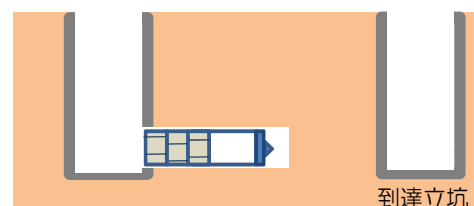
③: シールド機が前進したら、トンネルの壁(セグメント)を組み立てます。



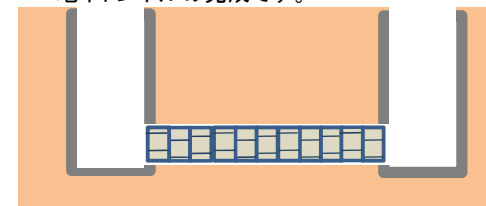
④: セグメントに力をかけ、シールド機が前進します。



⑤: ③、④を繰り返して、トンネルを掘り進めます。



⑥: 到達立坑にシールド機が到達したら、地下トンネルの完成です。



【工事の効果】

大雨時に水路から溢れていた雨水を、地下トンネルに流すことにより、浸水被害を軽減します。

